

緊急地震速報について

緊急地震速報は、大きな地震の発生直後に、強い揺れがくることを可能な限り素早くお知らせする情報です。

地震が発生すると、震源からは揺れが波（地震波）となって伝わっていきます。この波は大きく分けて2つあり、速く伝わり小さく揺れる「P波」と、後から伝わってきて強い揺れをもたらす「S波」があります。緊急地震速報は、速く伝わる「P波」を地震計でとらえ、地震が発生した場所（＝震源）や地震の規模（＝マグニチュード）を計算し、その震源とマグニチュードをもとに強く揺れる地域を予想します。そして、強い揺れの「S波」がくる前にお知らせする仕組みです。ただし、震源に近い場所では緊急地震速報の提供が強い揺れの到達に原理的に間に合わないことに注意が必要です。

緊急地震速報は警報と予報があり、一般的にテレビや携帯電話で伝えられる緊急地震速報（警報）は強い揺れ（最大震度5弱以上または長周期地震動階級3以上）が予想された場合に、地震の発生場所や、震度4以上や長周期地震動階級3以上の揺れが予想される地域名称などを発表します。緊急地震速報（予報）は機器制御などへの活用のほか、各家庭用の端末などで受信地点の予測震度、長周期地震動階級や主要動到達予想時刻などを表示する等にも利用されています。

緊急地震速報を活かすためには、事前に部屋の中の家具の固定や安全スペースの確保などの対策をしたり、考えたりしておかなければなりません。例えば、その場その時に合わせてどのような行動を取るべきかイメージしてみることもその一つです。さらに、そのイメージをもとに実際に行動をとる訓練をすることです。そして、緊急地震速報を見聞きしたときには、あわてずに自分や周りにいる人の身を守ることが重要です。強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒しかありません。この短い時間でも身を守る行動を取れるようにしましょう。

問い合わせ先 網走地方気象台
（電話：0152-43-4349）



網走地方気象台ホームページ



気象庁ホームページ
「地震情報」はこちらから

